

STRDESIGN V19.2 レベルアップ項目について

以下について機能強化対応を行いました。

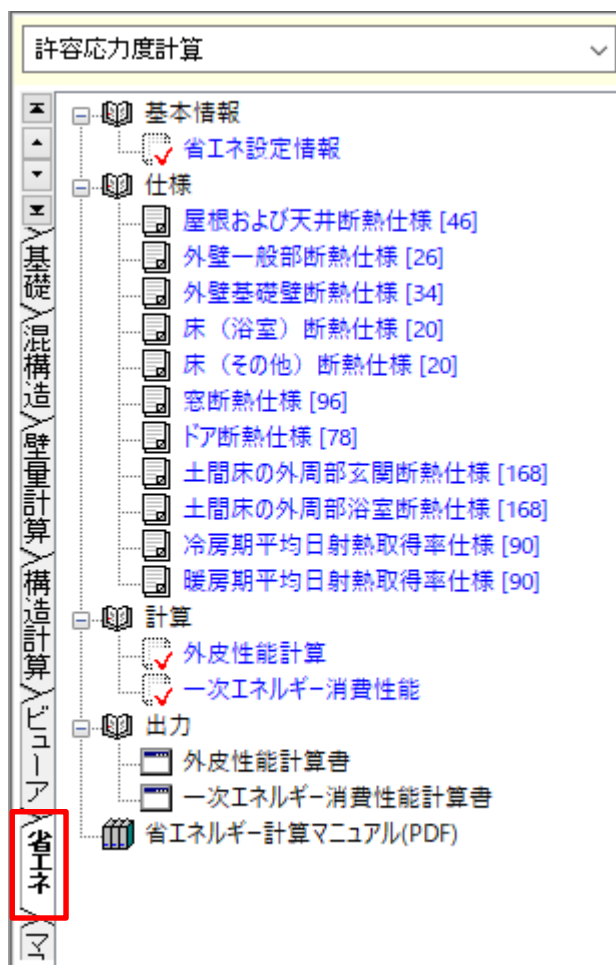
【全般】

No	項目	詳細
1	省エネルギー計算ツール	省エネルギー計算ツールを標準装備しました。 外皮性能と一次エネルギー消費性能について、建築物省エネ法に基づく評価方法の「モデル住宅法」に対応しました。

【全般1. 省エネルギー計算ツール】

省エネルギー計算ツールを標準装備しました。

外皮性能と一次エネルギー消費性能について、建築物省エネ法に基づく評価方法の「モデル住宅法」に対応しました。



縦タブに、[省エネ] を追加しました。

操作方法については、マニュアル (PDF) をご用意しています。

①外皮性能計算

プロパティ

省エネ設定情報

項目	内容
計算法	0 - 住宅モデル法
地域	1 - 1地域
構造	1 - 木造
断熱構造による	1 - 床断熱住戸
浴室の断熱構造	1 - 床断熱住戸 (浴室床断熱)
暖房方式	1 - パネルラジエーター (石油潜熱回収型)

更新 キャンセル

閉じる

1 / 1

・地域を指定してください。※自動設定ではありません。

【省エネ設定情報】画面で設定した [地域] と [浴室の断熱性能] により、【外皮性能計算】画面で計算する各部位の係数を自動で設定します。

外皮性能計算 (CRH50013)

熱貫流率 日射熱取得率

2021年4月版

シート番号: 11-1-1-1

作成年月日: 2022年7月23日

戸建住宅簡易計算シート

外皮性能

物件名	〇×邸
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1-5
作成者	富士通Japan株式会社
地域の区分	1 - 1地域
構造	1 - 木造
断熱構造による住戸の種類	1 - 床断熱住戸
浴室の断熱性能	1 - 床断熱住戸 (浴室床断熱)

外皮平均熱貫流率 Ua

一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きい仕様の熱貫流率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に0.02を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。

部位	仕様	係数	熱貫流率U	結果
屋根又は天井	一般部	0.194	1 - 0.248: 天井・吹込み用!	0.048 (1)
	一般部	0.489	1 - 0.438: 吹込み用ガラス	0.212 (2)
外壁	基礎壁(玄関)	0.004	1 - 0.571: 押出法ポリスチレ	0.002 (3)
	基礎壁(浴室)	0.000	8 - 0.328: 押出法ポリスチレ	0.000 (4)
床	浴室	0.009	1 - 0.495: 大引間・グラスウ	0.004 (5)
	その他の床	0.121	1 - 0.495: 大引間・グラスウ	0.060 (6)
窓		0.107	1 - 1.600: 樹脂製建具又は	0.171 (7)
ドア		0.014	1 - 1.600: 金属製熱遮断扉	0.022 (8)
土間床等の外周部	玄関等	0.021	1 - 0.990: 基礎形状によらぬ	0.021 (9)
	浴室	0.000	1 - 0.990: 基礎形状によらぬ	0.000 (10)
外皮平均熱貫流率 UA [W/(m ² ·K)]		(1)~(10)の合計		0.541

保存 キャンセル

【地域】 + 【浴室の断熱性能】 = シート番号 により、各部位の係数を自動設定

【出カイメージ】

	2021年4月版 1 シート番号: 1-1-1						
作成年月日: 2022年7月22日							
<p>戸建住宅簡易計算シート</p> <p>外皮性能</p>							
物件名	○×邸						
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1-5						
作成者	富士通 Japan 株式会社						
地域の区分	1 地域						
構造	木造						
断熱構造による住戸の種類	床断熱住戸						
浴室の断熱構造	床断熱住戸 (浴室床断熱)						
<p>外皮平均熱貫流率 UA</p> <p>・一つの部位に複数の異なる仕様を有する場合は、熱貫流率が最も大きな仕様の熱貫流率とする。窓の面積が単位住戸の床面積の合計に 0.02 を乗じた数値以下となる場合は当該窓の仕様を対象外とすることができる。</p>							
	係数		熱貫流率U		結果		
屋根又は天井	0.194	×	0.248	=	0.048	(1)	
外壁	一般部	0.489	×	0.375	=	0.183	(2)
	基礎壁 (玄関)	0.004	×	0.571	=	0.002	(3)
	基礎壁 (浴室)	—	×	—	=	—	(4)
床	浴室	0.009	×	0.495	=	0.004	(5)
	その他の床	0.121	×	0.495	=	0.060	(6)
窓	0.107	×	1.380	=	0.148	(7)	
ドア	0.014	×	1.600	=	0.022	(8)	
↑小数点第4位以下を切り上げ							
	係数		総熱貫流率U _Σ		結果		
土間床等の外周部	玄関等	0.021	×	0.990	=	0.021	(9)
	浴室	—	×	—	=	—	(10)
↑小数点第4位以下を切り上げ							
外皮平均熱貫流率 UA [W/(m ² ・K)]		(1)~(10)の合計 =			0.49		
※小数点第3位以下を切り上げ							

②一次エネルギー消費性能

先に【外皮性能計算】が実施されている前提で、外皮で計算した[熱貫流率]および[日射熱取得率]より[冷房暖房設備]のポイントを設定します。

また、[換気設備][給湯設備][照明設備]よりポイントを設定します。このとき、シート番号によりポイント選択条件およびポイントが変わります。

基本条件
×

基本条件
冷房暖房条件
換気設備
給湯設備
照明設備

2022年4月版
 シート番号: 12-1-エネ-2

作成年月日 2022年7月25日

戸建住宅簡易計算シート
一次エネルギー消費性能

物件名	○×部		
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1-5		
作成者	富士通Japan株式会社		
地域の区分	1-1地域		
暖房方式(主たる居室/その他居室)	1-パネルラジエーター(石油潜熱回収型温水暖房機)		

外皮性能

外皮平均熱貫流率 UA [W/(m ² ·K)]	0.500
冷房期の平均日射熱取得率 ηAC [-]	3.100
暖房期の平均日射熱取得率 ηAH [-]	3.000

【参考】各設備のポイントの目安
(その他の設備を除く)

暖房設備 [(1)の数字を転記]	=	54	(ア)
冷房設備 [(2)の数字を転記]	=	2	(イ)
換気設備 [(3)の数字を転記]	=	6	(ウ)
給湯設備 [(4)の数字を転記]	=	26	(エ)
照明設備 [(5)の数字を転記]	=	5	(オ)

※(3)~(5)は[換気設備]・[給湯設備]・[照明設備]タブにて設定してください。

一次エネルギー消費性能のポイント (ア)~(オ)の合計 = 93

保存 キャンセル

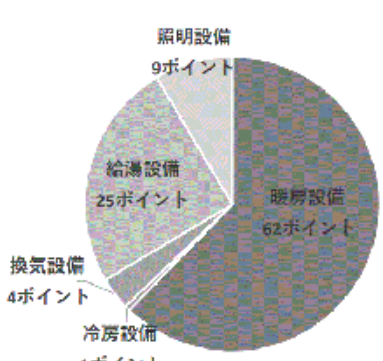
【出カイメージ】

	2022年4月版 1 シート番号：1-I7-2
作成年月日：2022年7月25日	
<h2 style="margin: 0;">戸建住宅簡易計算シート</h2> <h3 style="margin: 0;">一次エネルギー消費性能</h3>	
物件名	○×邸
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1-5
作成者	富士通 Japan 株式会社
地域の区分	1 地域
暖房方式	主たる居室 その他の居室
	パネルラジエーター（石油潜熱回収型温水暖房機）

外皮性能を記入してください。

外皮平均熱貫流率 UA[W/(m ² ・K)]	0.489
冷房期の平均日射熱取得率 ηAC[-]	3.065
暖房期の平均日射熱取得率 ηAH[-]	3.240

ポイント掲載ページより、(1)～(5)で■したポイントを以下の太枠内に転記し、合計を計算してください。



暖房設備	[(1)の数字を転記]	=	54	(ア)
冷房設備	[(2)の数字を転記]	=	2	(イ)
換気設備	[(3)の数字を転記]	=	6	(ウ)
給湯設備	[(4)の数字を転記]	=	26	(エ)
照明設備	[(5)の数字を転記]	=	5	(オ)

【参考】各設備のポイントの目安
(その他の設備を除く)

一次エネルギー消費性能のポイント(ア)～(オ)の合計 = 93
(100ポイント以下であれば基準適合)